北方領土を知ろう!



1 北方領土とは?



(外務省ホームページ)

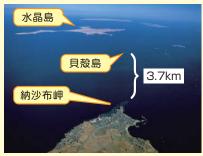
日本政府の基本的立場

北方領土は我が国固有の領土であり、外国の領土になったことはありません。北方領土には第二次世界大戦時、多くの日本人が生活していましたが、終戦の1945年にソ連(今のロシア)が占領し、日本人は退去させられました。以来ロシアの不法占拠が続き、日本は一貫して返還を要求しています。

北方領土は、択捉島・国後島・色丹島・歯舞群島の島々です。

四島の総面積は埼玉県の1.3倍の約5,000k㎡で、終戦時には7つの村と39の学校がありました。周辺の海域は、サケ・マス等の豊富な水産資源に恵まれています。

根室市上空からの歯舞群島



(内閣府ホームページ)

(図1~4とも外務省ホームページ) **日露和親条約**

国境の変遷

オホーツク海 オホーツク海 半島 様太 (サハリン) 北太平洋 国際島 色丹島 歯飼育島

昭和56年、条約が結ばれた2月7日を北方領土の日に決定しました。

2 北方領土の歴史

1644年 (正保元年)

江戸幕府は、「正保御国絵図」を作成。

1798年 (寛政10年) 近藤重蔵は、最上徳内らと共に国後島・択捉島を調査し、択捉島に「大日本恵登呂府」の標柱を建てる。 以後江戸幕府の直轄地として開拓。

1855年 (安政元年) 日露和親条約により、両国の国境が 択捉島とウルップ島の間に決定。樺太 は両国民の混住の地になる。

樺太千島交換条約により、日本は千

島列島をロシアから譲り受ける代わ

図1

樺太千島交換条約



ポーツマス条約

オホーツク海 オホーツク海 半島 (サハリン) (根太 (サハリン) 北太平洋 国後島 色丹島 歯歯群島 図3

1875年 (明治8年)

1905年

(明治38年)

日露戦争の結果、ポーツマス条約により北緯50度以南の南樺太が日本の領土になる。 図3

りに、樺太全島を放棄。

1945年(昭和20年)

8月 9日 ソ連は、日ソ中立条約を 無視して対日参戦。

8月14日 日本は、ポツダム宣言を 受諾して降伏。

8月18日~9月5日

ソ連軍が、千島列島と 北方四島を攻撃して占領。 地図には、くなしり・え とろふの名前が記載され ています。



(内閣府ホームページ)

譲り受ける千島列島とは、 ウルップ島以北の18の島 で、択捉島以南の北方四 島は含まれません。

終戦当時、北方四島に住んでいた約17,000人の日本人は、昭和23年までに全て強制退去させられました。

ソ連軍が最初に占拠した 択捉島・留別郵便局



(北方領土問題対策協会ホームページ)